

一般社団法人

# 香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部  
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1  
四国医療専門学校 作業療法学科内  
(一社)香川県作業療法士会事務局  
E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

## 作業療法士としての心構え

かつが整形外科クリニック 樋本 英司

約3年間にわたり新型コロナウイルス感染症により現場での疲弊は相当なものだったと思います。令和5年5月より「5類感染症」に移行されました。振り返ると約3年間のあいだ未知のウイルスとの戦いで、感染症対策に取り組みながら作業療法士として慌ただしく心身ともに余裕がない非日常的な生活だったと思います。

ようやく落ち着きはじめた日常生活で少しだけ時間に余裕ができたので、本棚から一冊の本を取りだしました。私が作業療法士として歩み始めたころに感銘を受け、現在も私自身が大切にしている心構えです。

経営の神様と呼ばれている京セラの創業者で稲盛和夫氏の言葉です。人生・仕事の結果＝「考え方」×「熱意」×「能力」の3つの要素の掛け算で決まると提唱しています。このうち熱意と能力は、それぞれ0点から100点まであり、能力を鼻にかけ努力を怠った人よりは、自分には普通の能力しかないと思っても誰よりも努力した人の方が、はるかに素晴らしい結果を残すことができます。これに「考え方」を掛けます。考え方とは生きる姿勢でありマイナス100点からプラス100点まであります。考え方次第で人生や仕事の結果は180度変わってくるのです。そこで熱意や能力とともに、人間としての正しい考え方をもつことが何よりも大切であるということです。

作業療法士として熱意と、正しい考え方を持ち続けることが仕事に結果として反映され、自分自身また対象者の幸せな人生に繋がると肝に銘じ今後も精進していきたいと思えます。

# 一般社団法人 香川県作業療法士会 役員紹介



会 長  
松 本 嘉次郎

四国医療専門学校の松本嘉次郎です。4 期目の代表理事を務めさせていただきます。引き続き、行政、他団体との関係構築は基より、組織の在り方、人材育成等の内政面にも力を入れていきたいと思ひます。今後ともご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。



副会長  
小 松 博 彦

今期も理事を務めさせていただくことになりました。今期まず大きな仕事は四国作業療法学会の開催です。是非とも皆様のご協力をお願い申し上げます。学会開催をはじめ、広報部、教育部の担当として、作業療法の普及と向上に邁進いたします。



副会長  
前 田 悠 志

こどもの支援と県から補助金をいただひての事業、研修会を担当しています。臨床は精神科で分野は異なりますが、作業療法の視点は共通ですのでとても興味深く勉強になります。県士会事業は会員のため、広くは県民のためにつながっていきます。県士会をみんなで盛り上げていきましょう、ご協力よろしくおひねいいたします。



事務局長  
山 川 公 彦

引き続き理事、事務局次長を務めさせていただきます、四国医療専門学校の山川公彦です。本会の運営、活動状況が会員の皆様に見える体制を構築し、一緒に作業療法分野が発展できるように運営したいと考えております。また、任期の 2 年間で、人材育成や今後県士会が継続的に発展できるように組織づくりに努めて参ります。今後に関しましてもご指導、ご鞭撻宜しくおひねいいたします。



理 事  
石 井 誠 二

引き続き、理事を務めさせていただきます総合病院回生病院の石井と申します。県士会では広報部の担当理事として、ホームページの管理をはじめ内外への情報発信力を高めてまいります。また、災害対策委員会を担当し、有事に備えて関連団体との連携強化と県士会における災害対策本部のマニュアル整備や人材育成に努めてまいります。



理 事  
中 川 真 人

介護老人保健施設白寿の杜の中川です。県士会からの推薦で、香川県介護支援専門員協議会の理事や介護支援専門員法定研修の指導者等もさせてもらっています。これからも作業療法士会の発展に尽力を尽くしていきますので、よろしくおひねい致します。



理事  
樋本 英 司

かつが整形外科クリニックの樋本英司と申します。多職種の方との「連携」を大切にして作業療法士の専門性を活かし、県内の地域包括ケアシステム構築の一翼を担えるよう努力していきたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。



理事  
若林 佳 樹

作業療法士の必要性を社会に広めたい！！その思い一つで引き続き理事に立候補いたしました。株式会社創心會の若林佳樹と申します。公共事業部、生活行為向上マネジメント推進委員会を担当します。微力ではございますが、さらなる香川県作業療法士会の発展のために全力を尽くしますので、よろしくお願い申し上げます。



理事  
山 下 良 二

引き続き理事を務めさせていただきます穴吹りハビリテーションカレッジの山下と申します。今期から事務局の補佐として県士会の運営に関わっていきます。会員の皆様の活動が少しでも円滑に進むように取り組み、作業療法の発展にも携わっていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



理事  
瀬 瀬 功

引き続き、学術部、運転と作業療法の理事を務めさせていただきます。学術部では、作業療法の知識や技術を学ぶための研修会や勉強会の企画、運営を行っております。今年度は、対面での研修会や新人、中堅の方を対象とした勉強会も開催する予定です。是非ともご参加いただければと思います。運転と作業療法は、香川県の自動車運転の現状や高齢者の移動手段を含め、幅広い視点で皆様と共に考えていければと思います。今後とも、両活動共によりしくお願い致します。



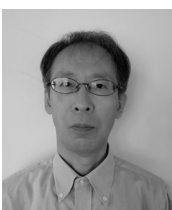
理事  
田 村 篤 史

2期目を務めます、医療法人社団研宣会広瀬病院、田村と申します。理事として、地域包括ケアシステム推進委員会・こどもサポート委員会を担当いたします。今後の地域事業の活発化に対して、皆様のご協力もよろしくお願い申し上げます。



監 事  
植 野 英 一

引き続き監事を務めさせていただきます植野英一です。香川県作業療法士会の運営が、その目的に向かって事業展開され、適切に会計処理が行われているかチェックするとともに組織の存在意義と存続について助言させていただきます。よろしくお願いいたします。



監 事  
松 本 勉

引き続き、監事を務めさせていただくことになりました。県士会では会員や会員以外に向けて、様々で多くの事業を行っています。それらの事業や会計処理が会員や公益のための活動として、適切に行われるように関わっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

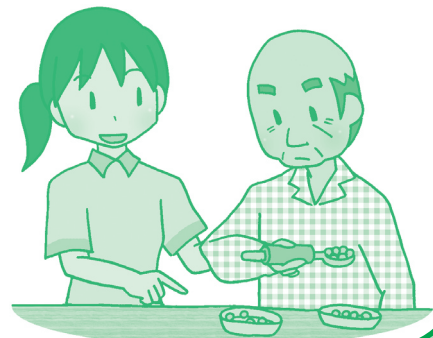


# 先輩の声

No.54 総合病院回生病院

宮脇 千愛美  
(15年目)

私がOTになり、回生病院に入職してからはや14年が経ちました。入職したばかりの頃、何もかもが分からなすぎて、仕事から帰るとすぐに疲れて寝落ちしていた日々を思い出します。昔から肩の力を抜くのが苦手で、患者さんに感情移入しすぎて、無力感から何度も辞めたいと思うこともありました。でも、その度に同僚や先輩、後輩、他病院のOTの方々や患者さん達との出会いに救われてきました。また、入職した時に先輩の先生に助言していただいた言葉は今でも心に残っています。その言葉は「患者さんはもともと治癒する力を持っていて、私達はその力を引き出す手伝いをさせてもらっているだけ。その人の邪魔にさえならなければ何をしても正解や不正解はないよ。」という言葉でした。自信がなく、ガチガチだった私の気持ちがスッと楽になったのを覚えています。何年も経験を積み重ねると、知識量や経験値は上がっていきませんが、その反面、自分のやり方が正しい。とそれを押し付けたり、傲慢な態度になりがちです。OTを続けてきて、今と昔と大きく違う点は、自分一人でできる事の限界を感じれるようになったことです。これを知ったことで、素直に他の人の意見に耳を傾けるようになり、いい意味で肩の力が抜けるようになってきました。OTは昔も今も一生勉強だと痛感していますが、これからも「一緒に過ごす時間は少しでも楽しく。」をモットーに、笑顔を忘れずに日々精進していきたいです。



## No.55 松井病院

## 宮崎 貴充

(14年目)



私は精神領域、維持期を経て現在の回復期に勤めて3年が経過しました。作業療法士になったばかりの当初は、セラピストとして患者様と関われる喜びを感じる一方で、患者様の症状を評価し、理解、治療することや、信頼関係を築くことの難しさを感じていました。そんな中で、同僚の方への相談や、自宅での勉強に加えて、実技をともなう講習や勉強会に参加する事で、少しでも患者様の役に立てるようになったと感じ、職務に励むことができた日々もありました。

現在勤めている回復期では、在宅に帰るための様々な課題と向き合っています。カンファレンスではリハビリチームや、他職種と話し合うことで、自分一人では考えつかなかった方法を知ることがあり、改めてチーム医療の大切さを感じています。また、訪問リハビリも経験させて頂いています。訪問リハビリでは、実際の環境下での練習をしていくうちに、本人様や家族様から困っていることの相談を聞くことがあります。家での目的が無く活動性を上げることが難しい方や、難病の方で最後まで家で過ごしたいと希望される方に対して、目標の設定や、環境調整、服薬管理方法、主介助者の健康状態、介護負担など、ケアマネジャーや他職種と情報を共有し合い、チーム全体でアプローチ方法を考えています。

働いて感じることは、経験を重ねても患者様が望んでいることを感じとることや、心境に寄り添うことは難しいということです。日々のリハビリの中で会話を重ね、出来るようになったことを一緒に喜び、出来ないことを工夫し乗り越えていく過程の中で、知ることができると考えています。まだまだ未熟ではありますが、患者様に関わらせて頂く機会を大切に、初心を忘れず努力し続け、根拠ある関わりを持っていきたい。これからも作業療法と患者様と向き合い続けていきたいと思えます。



## 令和5年7月9日(日)に、 学術研修会を開催しました

学術研修会担当委員長 **馬場 広志** (専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ)

日本作業療法士協会会長の山本伸一先生に、「脳卒中の上肢機能アプローチ～明日から使える介入の原則から具体的介入まで～」をテーマに、講師をしていただきました。

脳卒中片麻痺に対する障害像の理解を深めた上で、上肢機能アプローチの法則について学びました。日常的にアプローチしていることも、何の意図で行っているか理論づけて説明できるように、ひとつひとつ丁寧に説明していただき、実技を通して理解を深めることができました。研修会後のアンケートでは、「明日から使える実技を学べた」など、今回学んだことを現場で活かしていけるとの記載が多くみられました。

今回、コロナ感染症が蔓延して以降、初の対面形態による学術研修会であり、実技を交えながら実践的なお話を聞くことができ、参加の先生方にとっても臨床に活かせる学び多い時間になったのではと思います。

ご多忙中にも関わらず香川県までお越しいただきました山本先生、ご参加いただいた皆様ありがとうございます。学術部では、今後も会員の皆様の知識技術の向上につながる研修会を企画・運営し、地域の対象者の生活行為向上につながるよう活動していきたいと思っています。今後の研修会の機会にも、ご参加よろしくお願いたします。



New!

## リレーエッセイ15

西木 学  
(ライトハートいきいき荘)

尾川 由佳  
(通所リハビリテーションおさか)

泉宮 唯  
(三豊市立西香川病院)

西香川病院に入職してから今年で10年目を迎えました。職場からも永年勤続功労金をいただくことができ、今後も頑張ろうと思っているところです。これまで回復期病棟で4年、精神療養病棟で6年働き、患者様と関わってきた中で感じたことや、経験した事を書こうと思います。

私は学校を卒業して、回復期志望で当院に入職しました。回復期は目に見えて日々、患者様の体調がよくなっている事や、泣きながら感謝され、退院されていくときの「ありがとう」という言葉をくれる事に、とてもやりがいを感じていました。

精神療養病棟に異動してからは、主に重度の認知症患者様が入院しており、現在はそこでの集団リハビリをしています。最初、認知症は治る病気ではなく、回復期のようなやりがいを感じる機会が少なかったです。しかし、患者様との関わりの中で、いつも話さない人が声を出して話をしてくれたり、笑ってくれると、こちらも嬉しくなりました。

認知症患者様も、そうではない方もリハビリをしていくうえで、人同士の良好なコミュニケーションをとるには、お互いの理解が必要だと思います。さまざまな趣味を持っている人がいるため、その趣味に合わせた情報もひとつのコミュニケーション手段となります。例えば、パチンコ・お酒なども、私自身がもともと偏見し毛嫌いしていました。しかし興味を持って「何の台を打ってたの？海物語？一回遊ぶのにいくら入れるの？」など具体的に聞くと、発動性の低い無口な男性患者様でもニヤツとして「さあなあ、その日によるな…」と話してくれ、患者様との会話が広がりました。学生時代に様々な事に興味を持ち、多趣味な恩師がいましたが、まさにそれはOTとして必要な事だったのだと、最近になって感じています。

新型コロナウイルスも5類になり、興味を持って様々な事に挑戦しやすい世間になってきました。その中でも私たち医療職はまだまだ感染予防に厳しく、気を遣う場面が多いと思います。しかし自分の興味・趣味も大切にしつつ、私たちのQOLが向上すればと思います。

## No.28 病院紹介

### まるがめ医療センター



当院は平成29年に「まるがめ医療センター」に改名して以来、「最高・最新・最善の医療の飽くなき追求」の理念のもと、中讃地域における中核医療機関の一つとして日々の業務に従事しています。

まるがめ医療センターは約300床の病床数を有しております。「地域包括ケア病棟」「一般病棟」「回復期リハビリテーション病棟」「障害者病棟」の各病棟に加え、別棟に「通所リハビリテーションまるがめ」「小児リハビリテーションセンター」があり、各部署に療法士が配置されております。当院の療法士はPT・OT・ST合わせて約50名が在籍しております。

まるがめ医療センターの名前の通り、丸亀市周辺にお住いの方が入院・利用されることが多いです。総合病院となりますので、リハビリ対象となる疾患も多岐に渡ります。脳血管疾患、上下肢の整形外科疾患や圧迫骨折、内科疾患やそれに伴う廃用症候群、生活期リハビリや訪問リハビリ、小児疾患リハビリテーションを実施しております。療法士の人数を見ていただけるとお察しいただけるかと思いますが、当院ではリハビリテーション治療に重点を置いております。入院患者様や対象者が地域や社会へ復帰できるよう、質・量ともに十分なりハビリテーションを提供できるよう努力しております。

丸亀市を中心に中讃地域の様々な方のリハビリ、地域移行支援を行います。地域に根差したリハビリは大変やりがいを感じるものです。退院した患者様と病院の外で偶然お会いする事もあり、病氣・けがを克服し元気に過ごされる姿を見ると嬉しく感じます。

リハビリスタッフは明るくフレンドリーな方が多く、PT・OT・STの仲も良いです。リハビリ室はいつもスタッフと患者様の笑顔で活気づいています。





# 第25回香川県作業療法学会の 開催についてのご案内

この度、香川県作業療法士会学術部の学会運営委員で協議を行いました結果、令和6年1月28日(日)に「第25回香川県作業療法学会」の開催を決定いたしました。開催方法としましては4年ぶりに現地開催を予定しております。本学会が専門職としての知識研鑽と相互の情報交換、学術向上の場として会員の皆様が交流でき有意義な会と成り得るよう、運営委員一同、学会の成功に向けて努力いたしております。

ご多忙中とは存じますが、多数の皆様のご参加と演題のご応募を宜しくお願い申し上げます。

## 記

学会テーマ：「CONNECT ～人と繋がる作業療法～」

開催日程：令和6年1月28日（日）時間詳細は未定。

開催場所：坂出市民ホール  
(〒762-0001 香川県坂出市京町2丁目1-13)

開催内容：一般演題、基調講演、シンポジウム(仮)

以上

＜第25回香川県作業療法学会 運営委員会＞  
事務局 大浦 敦樹  
香川大学医学部附属病院リハビリテーション部内  
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸 1750-1  
E-mail：kagawaot25@yahoo.co.jp  
※お問い合わせはメールにてお願いいたします



## 教育部の紹介

### <主な事業内容>

#### ○生涯教育制度に基づく(一社)日本作業療法士協会との連携

生涯教育制度は「生涯教育基礎研修制度」と、「認定作業療法士取得研修」「専門作業療法士取得研修」からなります。また、作業療法士にとって必要不可欠である研修会講習会として、「生活行為向上マネジメント(MTDLP)研修」「臨床実習指導者講習会」が制度内に盛り込まれています。

#### ○現職者(共通・選択)研修会の企画・運営

**現職者共通研修(10テーマ)** 1テーマ90分の講義となります。

##### 現職者選択研修

##### ①必須研修

「生活行為向上 マネジメント(MTDLP)」の基礎を学びます。概論講義、演習など430分の研修を1日で実施しています。

##### ②選択研修

4領域「身体障害、精神障害、発達障害、老年期」から1領域以上を受講しなければなりません。90分の講義4テーマを1日で実施しています。

#### ○臨床実習指導者講習会の企画・運営

基礎研修修了の更新に「厚生労働省指定臨床実習指導者講習会」の受講が必須となりました。

#### ○MTDLPの推進:書き方研修会・活用講座・実践者研修会(事例検討)の実施

MTDLP情報発信LINE

\*友達登録お願いします▶



【MTDLPに関するお問い合わせ先】

[mtdlp.kagawa@gmail.com](mailto:mtdlp.kagawa@gmail.com)

担当者：若林 佳樹(株式会社創心會)

#### ○生涯教育に関する相談窓口

生涯教育制度に関するお問い合わせは、

香川県作業療法士会教育部：[kagawa.education@gmail.com](mailto:kagawa.education@gmail.com)

## 公共事業部の紹介

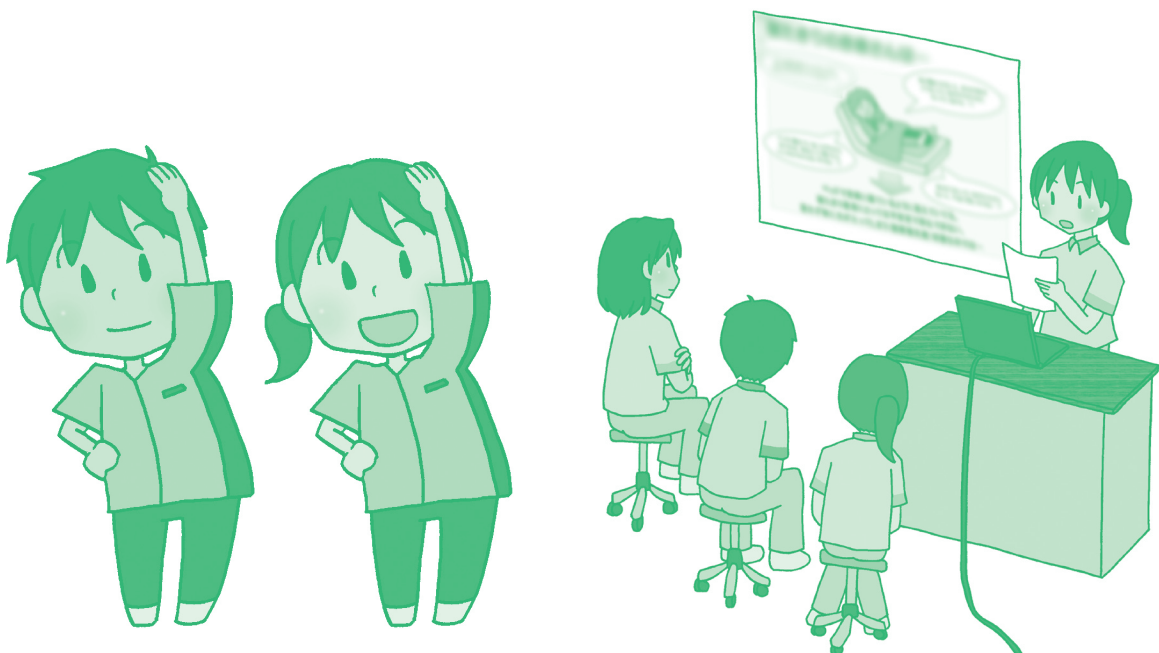
三豊市立西香川病院 山下 正浩

私は、香川県作業療法士会で公共事業部の部長をさせて頂いております。今回、公共事業部の活動に関して紹介をさせていただきます。

公共事業部が行っている主な活動ですが、昨年度を例に挙げますと、「YouTubeでの県民公開講座」と「市町に対して健康教室の講師派遣」を行ってきました。これらの活動は作業療法士以外の職種（ケアマネージャ、看護師など）に加えて、一般の県民の方を対象に行われています。このような、講座の開催や講師の派遣を行っている理由としては、公共事業部の担う役割が、作業療法士の社会的な認知度の向上にあるからです。作業療法士は今でこそ、リハビリテーションに関わる職業であると認識される事も多くなっています。しかし、具体的に何が出来るのかといった点に関してはまだまだ、世間に認知されていない部分もあります。そのため、県民が求めている健康や福祉の分野で作業療法士が活躍できる事を伝えるために活動を行っています。

ここ数年、COVID-19の流行により、活動の機会が制限されてきました。そんな中で、公共事業部部員や会員の皆様の協力によりYouTubeでの動画配信など新しい方法での活動を行う事が出来ました。今年度は、県民公開講座の対面での開催も可能な状況となっています。

最後に、公共事業部の活動は実際に運営する以外にも講師として協力や活動の周知を県民に対して行うなど様々あります。会員の皆様も興味がありましたら是非ご協力頂ければと思います。



# 香川県作業療法士会 公式アカウント



## QRコードでLINEの友だちを追加

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン>[QRコード]をタップして、コードリーダーでスキャンしてください。

**お問い合わせは香川県作業療法士会 事務局まで**

**(一社)香川県作業療法士会 事務局  
四国医療専門学校 作業療法学科内**

〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1

**TEL0877-41-2330**

■(一社) 香川県作業療法士会ニュース No.86■

編集長 木村勇介 (滝宮総合病院)

編集委員 福田かぐや (吉峰病院)

塩田未紅・安藤瑞基・大林美紀・田片孝祈 (松井病院)

村上太気 (いわき病院) 宇佐川雄太 (滝宮総合病院)